

取扱説明書 詳細版

Speed USB STICK U01



au

ごあいさつ

このたびは、Speed USB STICK U01(以下、「本製品」または「Speed USB STICK」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に、『取扱説明書 詳細版』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

本製品の取扱説明書として、同梱の『はじめてガイド』および『ご利用にあたっての注意事項』、auホームページで提供の『取扱説明書 詳細版』をご用意しております。また、本書ではこれらを総称して『取扱説明書』と表記します。

- ・『取扱説明書 詳細版』(本書)のPDFファイルは、本製品内にも保存されています。

本製品をパソコンに接続→Speed USB STICK設定ツールを起動(▶P.20)→トップページで「ヘルプ」

- ・『取扱説明書』のPDFファイルは、auホームページからダウンロードできます。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of "Quick start guide" and "Notes on usage" from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『はじめてガイド(英語版)』および『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>



- ◎本書は、お客様がWindows/Macなどのパソコンの基本操作に習熟されていることを前提に記載しています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。
- ◎本書に記載されているイラストおよび画面は、実際の製品とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎本書の表記の金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意(必ずお守りください)」(▶P.1)をお読みのうえ、正しくご使用ください。

■ 本製品をご利用いただくにあたって

- ・通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。
- ・サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、WiMAX 2+方式、LTE方式およびUMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています)
- ・本製品は国際ローミングサービス対応の機種ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- ・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されているauの端末のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- ・公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- ・お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- ・海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

■ マナーも携帯する

■ こんな場所では使用禁止！

- ・自動車・原動機付自転車・自転車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の本製品の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の本製品の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 使う場所に気をつけて！

- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。ご利用をお控えください。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、ご利用をお控えください。

免責事項について

- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附隨的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中止など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがあります、これらにより生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品は WiMAX 2+ネットワーク環境でご使用になれます、本製品の品質などに関するUQコミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元：華為技術日本(株)

製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO.,LTD.



◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

表示の説明

	この表示は「人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が軽傷 ^(※2) を負うことが想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を指します。

図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。

■ 本体、au Micro IC Card (LTE)、USB延長ケーブル(試供品)共通

!**危険** 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障の原因となります。
- 高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源をお切りください。ガスに引火するおそれがあります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
- 接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。
- 金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、接続端子に触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品やパソコンなどに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。
- USB延長ケーブル(試供品)を傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだUSB延長ケーブル(試供品)は使用しないでください。感電・電子回路のショート・火災の原因となります。



必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
- 本製品が落下などによって破損し、機器内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート・腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにパソコンから抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理になります。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。
- 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。



必ず下記の注意事項をお読みになつてからご使用ください。

- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけばがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
- 使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。
- 外部から電源が供給されている状態の本体に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
- 本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- 本体から背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
- 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。パソコンから取り外し、熱くないことを確認してから、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差してください。破損・故障の原因となります。

■ 本体について



必ず下記の警告事項をお読みになつてからご使用ください。

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の本製品の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の本製品の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- 高精度な電子機器の近くでは本製品を使用しないでください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例: 心臓ベースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)



植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないよう心がけてください。
3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ベースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。



必ず下記の注意事項をお読みになつてからご使用ください。



自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■ Speed USB STICK本体

使用箇所	使用材質<表面処理>
外装ケース(正面)	PC+ABS<塗装>
外装ケース(側面)	PC+9%GF<塗装>
外装ケース(金属部)	ベリリウム銅
背面カバー	PC+ABS<塗装>
ランプカバー	PC
ラベル	3M7815
USBコネクタ	ステンレスSUS304
USBコネクタ外装ケース	PC+ABS<塗装>
ネジラベル	PET/PC + TESA 4965

■ USB延長ケーブル(試供品)

使用箇所	使用材質<表面処理>
本体	PVC
USBコネクタ	銅合金<銅メッキ>



USBコネクタに液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。



砂浜などの上に直に置かないでください。本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。



通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。



本製品のUSBコネクタを引き出す際は、指などを挟まないようにご注意ください。けがなどの事故の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)について



必ず下記の警告事項をお読みになつてからご使用ください。



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



必ず下記の注意事項をお読みになつてからご使用ください。



au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。



au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。

指定品については、auショップもしくはお客様センターまでお問い合わせください。



au Micro IC Card (LTE)を分解・改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。



au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用・放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

-  au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。
-  au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
-  au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えると故障の原因となります。
-  au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。
-  au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

-  au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。
-  au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。
-  au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。
-  au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体・au Micro IC Card (LTE)・USB延長ケーブル(試供品)共通

- 本製品に無理な力がかかるないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりすると内部基板などの破損、故障の原因となります。
- また、パソコンに差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5°C~35°C、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通信中など、ご使用状況によっては本製品が温くなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ 本体について

- 背面カバーを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品が電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
- 背面カバーを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシール内に表示された「技適マーク(金印)」は、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、シールをはがさないでください。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめ了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

- 本製品のUSBコネクタをパソコンに接続するときやUSB延長ケーブル(試供品)を接続するときは、USBコネクタに対してUSBポートまたはUSB延長ケーブル(試供品)のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 本製品のUSBコネクタをパソコンに接続したり、USB延長ケーブル(試供品)を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

■ au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- 本製品のau Micro IC Cardスロットには、au Micro IC Card (LTE)以外のものは挿入しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
- また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用をお控えください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
- ※控え作成の手段:本製品の設定内容をパソコンにバックアップすることができます。詳しくは、「バックアップ&リストア」(▶P.29)をご参照ください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

■ PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐため、パソコンに接続するたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- ・お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「無効にする」(入力不要)に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力要否は「有効にする」(入力必要)に変更できます(▶P.28)。



◎ PINコードは「オールリセット」(▶P.29)を行ってもリセットされません。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- ・PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- ・PINロック解除コードを入力した場合は、「PINコード管理」で新しくPINコードを設定してください(▶P.28)。
- ・PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

■ 付属ソフトウェアに関するご注意

本製品に付属のソフトウェアのご使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

- お客様には、本ソフトウェアの使用権のみが譲渡されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡・販売などはできません。

- 本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のみ許可されます。他人への譲渡・販売などの目的でコピーをすることはできません。

- 本ソフトウェアのご使用にあたり、生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する損害の請求については、当社はその一切の責任を負いません。

■ ご利用の前に

本製品はWiMAX 2+方式およびLTE方式を利用してデータ通信を行うことができます。ご利用になる際は、WiMAX 2+方式のみを使うハイスピードモード、またはWiMAX 2+方式とLTE方式を使うハイスピードプラスエリアモードのいずれかの通信モードを選択いただけます。各通信モードの選択、設定方法については、「各種機能の詳細設定を行う(詳細設定)」の「接続設定」(▶P.26)を参照してください。

本製品はUSB 2.0またはUSB 3.0(パソコンメーカー独自仕様のUSBポートを除く)に対応しており、USBポートを備えたパソコンでご使用になります。

目次

ごあいさつ.....	ii
安全上のご注意.....	ii
本製品をご利用いただくにあたって.....	ii
マナーも携帯する.....	ii
免責事項について.....	1
安全上のご注意(必ずお守りください).....	1
取り扱い上のお願い.....	3
PINコードについて.....	4
付属ソフトウェアに関するご注意.....	4
ご利用の前に.....	4
目次.....	5
ご利用の準備.....	7
本製品の使いかた.....	8
動作環境(対応OS).....	8
箱の中身をご確認ください.....	9
各部の名称と機能.....	10
LEDステータスランプ表示の見かた.....	11
au Micro IC Card (LTE)について.....	11
au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す.....	11
セットアップ.....	13
Windowsパソコンへのセットアップ.....	14
Windowsパソコンから取り外す.....	14
Speed USB STICK setting toolをアンインストールする.....	15
Macへのセットアップ.....	15
Macから取り外す.....	16
Speed USB STICK setting toolをアンインストールする.....	16
タスクバー／メニューバーのアイコン表示の見かた.....	16
タスクバー／メニューバーのメッセージ表示.....	16
インターネット接続.....	17
インターネット接続するには.....	18
インターネットに接続する.....	18
インターネットへの接続／切断.....	18
機能設定.....	19
Speed USB STICK設定ツールについて.....	20
Speed USB STICK設定ツールを起動する.....	20
Speed USB STICK設定ツールのトップページ.....	20
Speed USB STICK設定ツールの設定画面.....	21
インターネットの情報を確認する(接続).....	22
接続ステータス.....	22
情報.....	22
基本設定を行う(基本設定).....	23
モバイルネットワーク.....	23
通信量カウンター.....	24
再起動.....	25
オンラインアップデート.....	25
各種機能の詳細設定を行う(詳細設定).....	26
接続設定.....	26
プロファイル設定.....	27
PINコード管理.....	28
バックアップ&リストア.....	29
オールリセット.....	29
プライバシー設定.....	30
接続先限定機能.....	31
セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定).....	32
ファイアウォールスイッチ.....	32
DHCP設定.....	32
LAN IPフィルタ.....	33
DMZ設定.....	35
通信履歴.....	36
バージョン.....	36

海外利用	37
グローバルパスポート	38
GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について	38
海外ご利用になるときは	38
海外で安心してご利用いただくために	38
海外利用に関する設定を行う	39
ローミング設定	39
付録／索引.....	41
付録.....	42
故障とお考えになる前に	42
アフターサービスについて	44
Speed USB STICK設定ツール メニュー項目／設定項目一覧	45
主な仕様	47
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	47
Reduction of hazardous substances	48
EU regulatory conformance	48
FCC Regulatory Compliance	48
輸出管理規制	49
用語集	49
索引.....	50
知的財産権について	51
商標について	51
個人情報保護方針	51

ご利用の準備

本製品の使いかた.....	8
動作環境(対応OS).....	8
箱の中身をご確認ください.....	9
各部の名称と機能.....	10
LEDステータスランプ表示の見かた	11
au Micro IC Card (LTE)について.....	11

本製品の使いかた

本製品は、USBポートを備えたWindows／Macなどのパソコンでご利用でき、WiMAX 2+またはLTE方式を使ってインターネット接続によるデータ通信が行えます。また、海外のLTE方式またはUMTS方式を利用したインターネット接続によるデータ通信が行えます。

memo

- ◎ネットワークへの接続は、その時点で快適に使えるネットワークを自動的に判別して接続します。
- ◎本製品の通信は、すべてベストエフォート方式です。回線の混雑状況により通信速度が切り替わります。
- ◎電波受信状況やアクセス集中、コンテンツの容量などによっては、正常な通信が行えない場合があります。また、接続機器やゲームによっては通信や通信対戦プレイなどが正常に動作しない場合があります。
- ◎本製品をOSが起動したパソコンのUSBポートに接続すると、自動的にインターネットへの接続を開始します。
- ◎本製品を海外で使用する場合は「ローミング設定」(▶P.39)が必要です。

動作環境(対応OS)

本製品の動作環境は下記のとおりです。(2014年12月現在)

■ OS

Windows Vista (32ビット／64ビット)
Windows 7 (32ビット／64ビット)
Windows 8 (32ビット／64ビット)
Windows 8.1 (32ビット／64ビット)
Mac OS X 10.5
Mac OS X 10.6 (32ビット／64ビット)
Mac OS X 10.7 (32ビット／64ビット)
Mac OS X 10.8 (64ビット)
Mac OS X 10.9 (64ビット)
Mac OS X 10.10 (64ビット)
上記OSの日本語版／英語版に対応しております。
ただし、Windows RTは非対応です。

■ メモリ

Windows Vista：推奨1GB以上 (512MB以上必要)
Windows 7：1GB以上必要 (32ビット) 2GB以上必要 (64ビット)
Windows 8／8.1：2GB以上必要
Mac OS X：推奨512MB以上 (256MB以上必要)

■ ハードディスク

推奨100MB以上(50MB以上の空き容量が必要)
Windows 8／8.1：2GB以上の空き容量が必要

■ 画面解像度

推奨1024×768以上

■ USBポート

USB 2.0またはUSB 3.0(パソコンメーカー独自仕様のUSBポートを除く)

■ 対応ブラウザ (Speed USB STICK設定ツール対応)

Microsoft Internet Explorer 8.0～11.0
Safari 6.0～8.0
Firefox 24.0～33
Google Chrome 10～39
Opera 11～25

上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体、接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。また、プロキシの設定、インターネットオプションのセキュリティ設定など、ブラウザの設定によっては正常に動作しない場合があります。

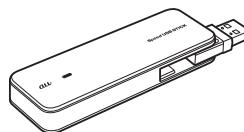
memo

- ◎パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンの取扱説明書などを読みのうえ、各メーカーの定める手順に従ってください。

箱の中身をご確認ください

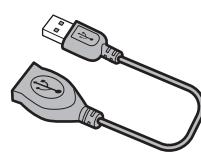
ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

■ 本体

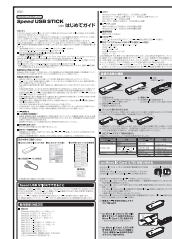


Speed USB STICK U01本体

■ 付属品



USB延長ケーブル(試供品)



はじめてガイド



ご利用にあたっての注意事項



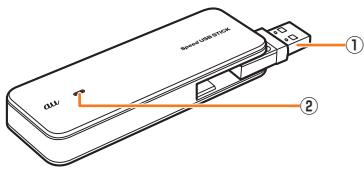
保証書



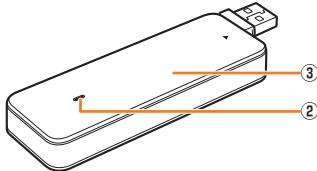
◎ 保証書を含め付属品は大切に保管してください。

各部の名称と機能

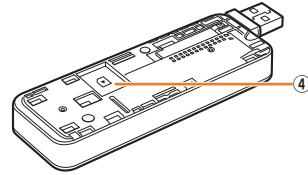
■正面



■背面



■背面(背面カバー内部)



① USBコネクタ

USBコネクタを回転させて引き出し、パソコンのUSBポートに接続します。

② LEDステータスランプ

本製品の状態を表示します。詳細については、「LEDステータスランプ表示の見かた」(▶P.11)をご参照ください。

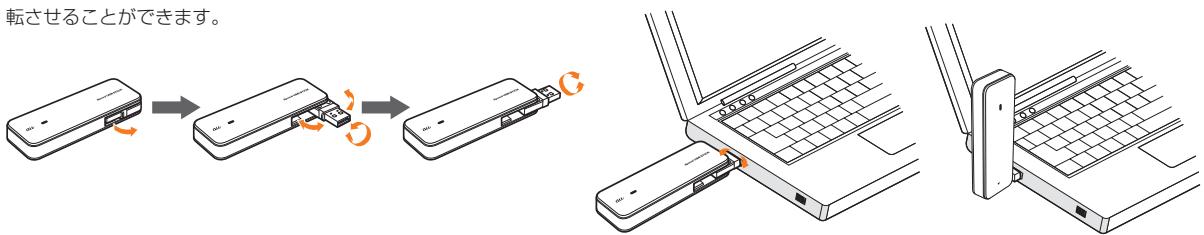
③ 背面カバー

④ au Micro IC Cardスロット

au Micro IC Card (LTE)を取り付けます。

■パソコンに取り付けるときは

USBコネクタを引き出して使用します。USBコネクタは最大180度引き出すことができます。また、USBコネクタの先端部分は最大180度回転させることができます。



- 本製品をパソコンから取り外したときは、USBコネクタを元の位置まで戻して収納してください。

memo

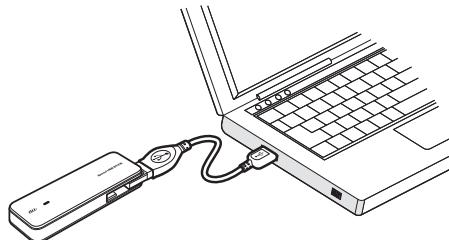
◎ USBコネクタを引き出す際には、180度を超えて回転させないでください。また、USBコネクタの先端を回転させる際には、180度を超えて回転させないでください。

◎ USBコネクタを引き出す、または収納する際は、指をはさんだりして手や指などを傷つけたりしないようにご注意ください。

◎ 本製品を持ち運ぶときは、パソコンから取り外し、USBコネクタを収納してください。パソコンに接続したままやUSBコネクタを引き出したままで持ち運ぶと、USBコネクタなどに誤って衝撃がかかり、故障の原因となります。

■USB延長ケーブル(試供品)を使ってパソコンに接続するときは

USB延長ケーブル(試供品)のUSBコネクタに本製品を接続し、もう一方のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。



memo

◎ 本製品に使用するUSB延長ケーブルは、必ず同梱のUSB延長ケーブル(試供品)を使用してください。市販のUSB延長ケーブルや変換アダプタを接続した場合、正しく通信できない場合があります。

LEDステータスランプ表示の見かた

本製品では、LEDの点灯によって端末の状態をお知らせします。

LED色および点灯パターン	状態
赤でごく短く点滅	起動中
赤で短く点滅	圏外
赤で短く点滅	au Micro IC Card (LTE)未挿入、PINコード／PINロック解除コード要求
赤で点灯	スタンバイ状態
水色で点灯	WiMAX 2+/UMTS接続中(電波状態:強)
水色で短く点滅	WiMAX 2+/UMTS接続中(電波状態:弱)
緑で点灯	LTE接続中(電波状態:強)
緑で短く点滅	LTE接続中(電波状態:弱)
緑でごく短く点滅	ソフトウェア更新中

au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。

- 本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au Micro IC Card (LTE)以外のICカードはご利用できません。



memo

◎ au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。

- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分や本製品本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ au Micro IC Card (LTE)着脱時は、必ずパソコンから抜いてください。

◎ 取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。

◎ au Micro IC Card (LTE)には、お客様の情報として電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発着信は行えません。

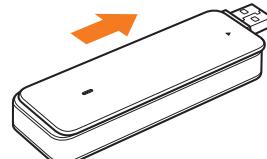
◎ au Micro IC Card (LTE)の無断使用や個人情報漏洩を防ぐために、PINコード操作を有効にすることをお勧めします(▶P.28)。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す

au Micro IC Card (LTE)の取り付け／取り外しは、本製品をパソコンから取り外してから行います。USB延長ケーブル(試供品)が接続されているときは取り外してください。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

1 背面カバーを矢印の方向にスライドして取り外す



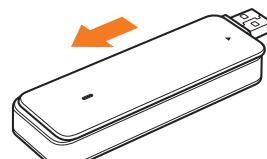
2 au Micro IC Card (LTE)を矢印の方向に挿入する

IC(金属)面を下にして、図に示す切り欠き部分で方向を確認してから差し込んでください。

- 奥まで挿入されていることを確認してください。



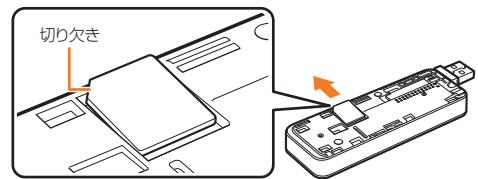
3 背面カバーを矢印の方向にスライドして取り付ける



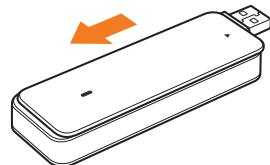
■ au Micro IC Card (LTE)を取り外す

① 背面カバーをUSBコネクタの方向にスライドして取り外す

② au Micro IC Card (LTE)を矢印の方向にスライドして取り外す



③ 背面カバーを矢印の方向にスライドして取り付ける



セットアップ

Windowsパソコンへのセットアップ.....	14
Macへのセットアップ	15
タスクバー／メニューバーのアイコン表示の見かた.....	16

Windowsパソコンへのセットアップ

本製品をWindowsパソコンに接続し、セットアップを行います。

- ・本製品を初めて接続したパソコンには、Speed USB STICK setting toolをインストールする必要があります。
- ・画面表示や手順はWindows 7を例としています。



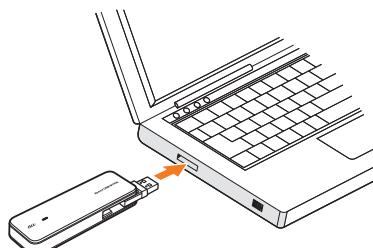
◎ 管理者権限/Administratorでログインしてください。

◎ セットアップ中に本製品を取り外さないでください。セットアップが正常に行われない、システムがダウンするなどの異常を起こすことがあります。

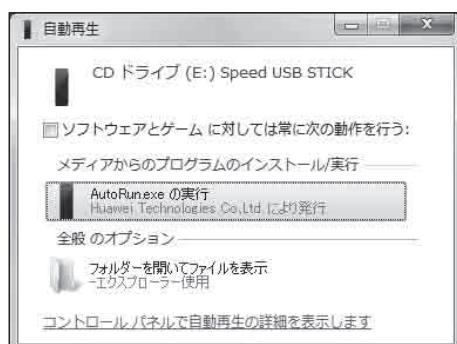
1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 au Micro IC Card (LTE)を取り付けた本製品をパソコンのUSBポートに接続する

- ・パソコンがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のパソコンによっては、時間がかかる場合があります)。
- ・Windows 8／8.1をお使いの場合は、CDドライブへの操作を確認するメッセージが表示されたら、「AutoRun.exeの実行」を選択します。
- ・Windows Vistaをお使いの場合は、「AutoRun.exeの実行」は表示されません。「コンピュータ」→「CDドライブ(X:)Speed USB STICK」→「AutoRun.exe」を選択してください。



3 「AutoRun.exeの実行」を選択する



- ・インストール確認メッセージが表示された場合は「[はい]」をクリックします。

4 インストールが開始される

デスクトップに「Speed USB STICK setting tool」のショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

タスクバーにはSpeed USB STICKの(●)(緑色)が表示され、本製品がPCに接続されて正しく検出されていることを示します(▶P.16)。

- ・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「[はい]」(Windows Vistaの場合は「[続行]」)をクリックします。



◎ タスクバーのSpeed USB STICKのアイコン(●)はパソコンの設定によっては表示されません。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照してください。

◎ 本製品を取り付けた状態でスタンバイ(サスペンド／リジューム)または休止(ハイバネーション)を行うと、パソコンが正常に動作しない場合があります。これらの機能を実行する前に本製品を取り外してください。

◎ 本製品を取り付けた状態で電源を入れたり再起動したりするとパソコンが正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

Windowsパソコンから取り外す

データ通信中でないことを確認し、Speed USB STICK設定ツールを起動している場合は終了してください。

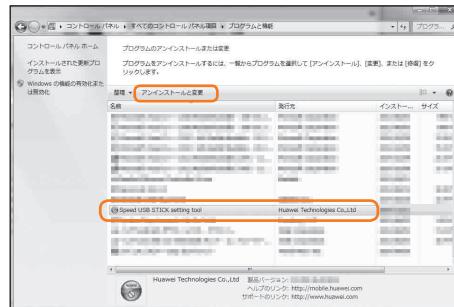
1 本製品をパソコンから取り外す

■ Speed USB STICK setting toolをアンインストールする

画面表示や手順はWindows 7を例としています。

① 「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」の順に選択する

② 「Speed USB STICK setting tool」を選択し、「アンインストールと変更」を選択する



- ・アンインストール確認メッセージが表示された場合は「はい」をクリックします。

③ 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」(Windows Vistaの場合は「続行」)を選択する

- ・アンインストール完了メッセージが表示された場合は「OK」をクリックします。

Macへのセットアップ

本製品をMacに接続し、セットアップを行います。

- ・本製品を初めて接続したMacには、Speed USB STICK setting toolをインストールする必要があります。
- ・画面表示や手順はMac OS X 10.10を例としています。

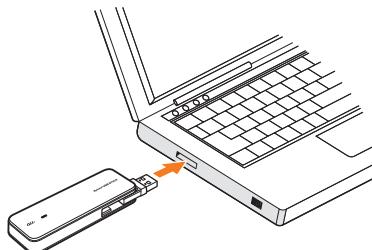


- ◎ 管理者権限/Administratorでログインしてください。
- ◎ セットアップ中に本製品を取り外さないでください。セットアップが正常に行われない、システムがダウンするなどの異常を起こすことがあります。

① Macの電源を入れ、OSを起動する

② au Micro IC Card (LTE)を取り付けた本製品をMacのUSBポートに接続する

- ・Macがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のMacによっては、時間がかかる場合があります)。



デスクトップに「Speed USB STICK」ショートカットアイコンが表示され、「Speed USB STICK」フォルダが自動的に開きます。

③ 「Speed USB STICK」を選択する

④ Macの名前(ユーザ名)とパスワードを入力して、「OK」を選択する



Dockに「Speed USB STICK setting tool」のショートカットアイコンが表示されたら、セットアップ完了です。

メニューバーにはSpeed USB STICKの图标(緑色)が表示され、本製品がMacに接続されて正しく検出されていることを示します(▶P.16)。



- ◎ 本製品を取り付けた状態でスタンバイ(サスベンド/レジューム)または休止(ハイバネーション)を行うと、Macが正常に動作しない場合があります。これらの機能を実行する前に本製品を取り外してください。
- ◎ 本製品を取り付けた状態で電源を入れたり再起動したりするとMacが正常に動作しない場合があります。Macを起動する前に本製品を取り外してください。

■ Macから取り外す

データ通信中でないことを確認し、Speed USB STICK設定ツールを起動している場合は終了してください。

① 本製品をMacから取り外す

■ Speed USB STICK setting toolをアンインストールする

① アプリケーションの画面を表示する

② 「Speed USB STICK Uninstall」アイコンを選択する



③ アンインストールの確認画面で「OK」を選択する

認証画面が表示されます。

④ Macの名前(ユーザ名)とパスワードを入力して、「OK」を選択する



・DockにSpeed USB STICK setting Toolショートカットアイコンが残っている場合は手動で削除します。

タスクバー／メニューバーのアイコン表示の見かた

セットアップ完了後は、本製品の状態をパソコンのタスクバー(Windows)／メニューバー(Mac)のアイコンによってお知らせします。

アイコンの色	状態
灰色	Speed USB STICKがPCに接続されていない状態。または、接続しているが認識されていない状態。
緑色	Speed USB STICKがPCに接続され正しく認識されている状態。
赤色	Speed USB STICKがPCに接続され正しく認識されている状態で、データ通信量が通知するデータ通信量設定で設定した値*を超えたことのお知らせ(▶P.24)。 ※:お買い上げ時はオフに設定されています。

タスクバー／メニューバーのメッセージ表示

データ通信量があらかじめ設定した容量に達したり(▶P.24)、新しいソフトウェアがある(▶P.25)とポップアップでメッセージが表示されます。

インターネット接続

インターネット接続するには.....	18
インターネットに接続する	18
インターネットへの接続／切断.....	18

インターネット接続するには

インターネットに接続してデータ通信を行うには、サービスに対応するインターネットサービスプロバイダ(ISP)との契約が必要です。ご加入のISPから別途設定の指定がある場合は「プロファイル設定」(▶P.27)で対応ISPのプロファイル設定を追加し、「接続設定」(▶P.26)でプロファイルを変更してください。
詳しくは、最新のau総合力タログ／auホームページをご参照ください。

- ・対応ISPについては、auホームページをご確認ください。対応ISPのサービス内容や、設定方法はISPによって異なりますので、各対応ISPにご確認ください。

インターネットに接続する

本製品は、USBポートを備えたWindows／Macなどのパソコンでご利用でき、WiMAX 2+またはLTE方式を使ってインターネット接続してデータ通信が行えます。また、海外のLTE／UMTS方式を利用したインターネット接続によるデータ通信が行えます。



-
- ◎ 本製品の通信は、すべてベストエフォート方式です。回線の混雑状況により通信速度が切り替わります。
 - ◎ 本製品を海外で使用する場合は「ローミング設定」(▶P.39)が必要です。

インターネットへの接続／切断

本製品をOSが起動したパソコンのUSBポートに接続すると、自動的にインターネットへの接続を開始します。

- ・以下の場合は、本製品をパソコンに接続しても自動的にインターネットへの接続は開始しません。
 - モバイルネットワークの接続方法を「手動」に設定した場合(▶P.23)
 - パスワードを設定せずに作成したプロファイルを使用する場合(▶P.27)
- その場合は、Speed USB STICK設定ツールのトップページで「接続」を選択する(PINコードの入力が必要な場合は入力を行う)と、インターネットに接続されます。

機能設定

Speed USB STICK設定ツールについて	20
インターネットの情報を確認する(接続)	22
基本設定を行う(基本設定)	23
各種機能の詳細設定を行う(詳細設定)	26
セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定)	32
通信履歴	36
バージョン	36

Speed USB STICK設定ツールについて

本製品を接続したパソコンのWebブラウザを使用して本製品の各種機能を設定することができます。



- ◎ Speed USB STICK設定ツールは、以下のWebブラウザに対応しています。
Microsoft Internet Explorer 8.0～11.0
Safari 6.0～8.0
Firefox 24.0～33
Google Chrome 10～39
Opera 11～25

Speed USB STICK設定ツールを起動する

画面表示はWindows 7でInternet Explorer 11.0を使用した場合を例にして説明しています。

1 本製品をパソコンに接続する

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「<http://speedusb-stick.home>」と入力する

Speed USB STICK設定ツールのトップページが表示されます。



- ◎ デスクトップ上(Macの場合はDock)にある「Speed USB STICK setting tool」ショートカットアイコンをダブルクリックしてもSpeed USB STICK設定ツールのトップページが表示されます。

Speed USB STICK設定ツールのトップページ



① プロファイル変更

プロファイルリストからプロファイルを選択します。

本製品にはインターネットに接続するためのプロファイルとして「Internet」があらかじめ用意されています。ご自分で加入されたインターネットサービスプロバイダの指定に応じて、新しいプロファイルを作成することもできます。(▶P.27)

② 現在のステータス

本製品の現在の通信状態(ステータス)が表示されます。

- 接続設定やプロファイル設定によっては、「接続」ボタンやパスワード入力欄が表示されます。
- 受信済み、送信済みは現在の送受信したデータ通信量を表示しています。パソコンからSpeed USB STICKを取り外すとリセットされます。

③ ローミング設定表示

ローミング設定がオンのときに、ローミングサービス(通信事業者)のネットワークに接続されると表示されます。

④ 受信レベル表示

現在の受信レベルが表示されます。

⑤ 接続ネットワーク表示

接続されているネットワークの種類が表示されます。

- WiMAX 2+**: WiMAX 2+方式で接続中
- LTE**: LTE方式で接続中
- UMTS**: UMTS方式で接続中

⑥ ネットワーク接続

通信モード設定を「ハイスピード」または「ハイスピードプラスエリア」から選択して切り替えます。

⑦ 通信量カウンター

データ通信量が表示されます。

- データ通信量は設定した条件でデータ通信量を表示します。パソコンからSpeed USB STICKを取り外してもリセットされず、設定した日付になるとリセットされます。(▶P.24)

⑧ 言語

Speed USB STICK設定ツールの表示言語を切り替えます。

⑨ オンラインヘルプ

本製品の取扱説明書詳細版のPDFファイルを表示したり、サポート情報に関するサイトへのリンクページが表示されます。

⑩ 詳細設定へ

Speed USB STICK設定ツールの設定画面を表示します。

■ Speed USB STICK設定ツールの設定画面



① メニューナビ

メニュー項目を選択して切り替えます。

② サブメニュー

サブメニュー項目を選択して切り替えます。

③ 設定ページ

各機能の設定／情報画面が表示されます。

④ 言語

Speed USB STICK設定ツールの表示言語を切り替えます。

⑤ ヘルプ

本製品の取扱説明書詳細版のPDFファイルを表示したり、サポート情報に関するサイトへのリンクページが表示されます。



◎ Speed USB STICK設定ツールの設定画面は、Speed USB STICK設定ツールのトップページで「詳細設定へ」を選択すると、Webブラウザの別画面で表示されます。

インターネットの情報を確認する(接続)

1 メニューナビから「接続」を選択する

サブメニューが表示されます。

2 確認する項目を選択する

接続ステータス

「接続ステータス」をクリックすると、インターネット接続についての情報が表示されます。



- ローミング時は、ローミングステータスの下に海外通信事業者が表示されます。



◎表示される受信済み／送信済みのデータ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。

情報

「情報」をクリックすると、本製品の端末情報が表示されます。



◎電話番号が表示されますが、本製品で音声通話はできません。

基本設定を行う(基本設定)

Speed USB STICK設定ツールの基本的な設定を行います。

1 メニューナビから「基本設定」を選択する

サブメニューが表示されます。

2 設定する機能を選択する



◎ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.39)を参照してください。

モバイルネットワーク

通信モード設定を「ハイスピード」または「ハイスピードプラスエリア」から選択して切り替えることができます。また、接続方法を「自動」または「手動」から選択して切り替えることができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
通信モード設定 ^{*1*2}	ネットワークへの通信方法を設定します。	ハイスピード、ハイスピードプラスエリア ^{*3}	ハイスピード
接続方法	設定しているネットワークへの接続を自動または手動に切り替えます。	自動、手動	自動

*1 : 「ハイスピード」に設定するとWiMAX 2+、「ハイスピードプラスエリア」に設定するとWiMAX 2+またはLTEネットワークに接続します。

*2 : 接続設定でハイスピードプラスエリアモード規制をオンに設定すると、通信モード設定を「ハイスピードプラスエリア」に切り替えることができなくなります(▶P.26)。

*3 : 「ハイスピードプラスエリア」を選択して「適用」を選択すると、「ご注意！」画面が表示されます。内容をご確認のうえ「OK」をタップして、「続行」を選択してください。

「ハイスピードプラスエリア」を選択すると、所定の追加料金が別途かかりますのでご注意ください。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

■ 通信量カウンター

データ通信量の確認や、表示の設定を行います。



- ◎ カウントするデータ通信量は目安であり、通信事業者が測定するデータ通信量とは異なる場合があります。
- ◎ ローミング中のデータ通信量はカウントされません。
- ◎ ローミング中は、日付・時刻を正しく取得できず、カウント開始日で設定した日に自動的にデータ通信量の表示がクリアされない可能性があります。



1 各項目を設定する

機能設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
データ通信量	カウントされたデータ通信量が表示されます。	—	—
クリア ^{*1}	カウントされたデータ通信量を手動でクリアします。	—	—
カウント方式の選択	通信量のカウントを、通信モードごとに行うかネットワークごとに行うかを設定します。	通信モード、ネットワーク	通信モード
カウントするネットワークの選択 ^{*2^{※3}}	通信量をカウントするネットワーク（「WiMAX 2+」「LTE」）のオン／オフを設定します。	オン、オフ	WiMAX 2+: オン LTE: オン
カウントする通信モードの選択 ^{*2^{※4}}	通信量をカウントする通信モード（「ハイスピード」「ハイスピードプラスエリア」）のオン／オフを設定します。	オン、オフ	ハイスピード: オフ ハイスピードプラスエリア: オン
最大データ通信量設定	通信量カウンターの最大値を設定します。	1～99	7GB
カウント開始日 ^{*5}	通信量カウンターのカウント開始日を設定します。	1～31	毎月1日
通知設定	通知するデータ通信量設定で設定した値を超えた場合に通知を行うかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
通知するデータ通信量設定 ^{*6}	最大データ通信量の何%になったときに通知を行うかを設定します。	10%、20%、...、100%	90%

※1：カウント開始日で設定した日や、本製品に別のau Micro IC Card (LTE)を取り付けたときは、カウントされたデータ通信量は自動的にクリアされます。

※2：オンに設定した通信モード／ネットワークの累計のデータ量は、Speed USB STICK設定ツールのトップページ（▶P.20）、通信量カウンター（▶P.24）に表示されます。

※3：カウント方式の選択を「ネットワーク」にすると設定できます。

※4：カウント方式の選択を「通信モード」にすると設定できます。

※5：カウント開始日を毎月31日に設定したとき、31日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。

※6：通知設定をオンにすると設定できます。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



- ◎ ネットワークから日付・時刻情報を取得できなかった場合、累計のデータ通信量が表示されます。日付・時刻情報を取得できると、当月のデータ通信量が表示されます。

■ 再起動

本製品を再起動することができます。



1 「再起動」を選択する

2 「OK」を選択する

本製品が再起動されます。再起動が完了すると、Speed USB STICK設定ツールのトップページに戻ります。

- ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

■ オンラインアップデート

最新のソフトウェアの有無を確認します。自動検出をオンに設定すると、定期的に最新のソフトウェアの確認が行われます。また、検出した最新のソフトウェアをダウンロードし、更新(アップデート)することもできます。



■ 更新の有無を自動的に検出するように設定する場合

1 サブメニューから「オンラインアップデート」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
自動検出	自動検出のオン／オフを設定します。	オン、オフ	オン

3 設定が完了したら「適用」を選択する

■ 更新(アップデート)する場合

1 サブメニューから「オンラインアップデート」を選択する

2 「アップデート」を選択する

最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。最新のソフトウェアがない場合は、ここで操作終了です。

最新のソフトウェアがある場合は、ソフトウェア情報が表示されます。

3 「アップデート」を選択する

ダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

■ 自動検出で最新のソフトウェアを検出した場合

最新のソフトウェアを検出した場合は、タスクバーに本製品を接続した状態のアイコン(表示例:)が表示されているときにポップアップでメッセージが表示されます。

1 ポップアップのメッセージ「新しいバージョンが見つかりました。クリックしてアップデートしてください。」を選択する。

2 サブメニューから「オンラインアップデート」を選択する

3 「アップデート」を選択する

ダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

- Macではメッセージ中の「アップデート」をクリックして更新してください。

- ◎オンラインアップデートを実行する場合、インターネットに接続されていることを確認してください。
- ◎アップデートの際には、アップデートが必要な端末であるかどうかや、アップデートを行ったかどうかを調べるためにIMSI(ICカードなどに記録された加入者識別番号)とIMEI(端末に記録された端末識別番号)をアップデートサーバーに通知します。
- ◎最新のソフトウェアの確認に失敗した場合は、電波状況の良い場所で再度実行してください。

各種機能の詳細設定を行う(詳細設定)

Speed USB STICK設定ツールの詳細設定を行います。

- ・プライバシー設定がオンの場合は、「詳細設定」を選択するとプライバシー認証画面が表示されます。詳細は、「プライバシー設定」(▶P.30)をご参照ください。

1 メニューナビから「詳細設定」を選択する

サブメニューが表示されます。

2 設定する機能を選択する

接続設定

インターネットに接続するための設定ができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	使用するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大5件	Internet
MTU(Bytes)	最大転送ユニットサイズを指定します。	1400~1500	1420
使用するプロファイルの位置	端末本体内またはパソコン内のどちらのプロファイルを使用するか設定します。(通常は設定を変更する必要はありません。)	本体内プロファイル、接続PC内プロファイル	本体内プロファイル
プロファイル (Internet) 使用規制	使用するプロファイルの位置で「本体内プロファイル」を選択した場合にオンに設定すると、プロファイル(Internet)が使用できなくなります。他のプロファイルを新規に設定して使用してください	オン、オフ	オフ
ハイスピードプラスエリアモード規制	オンに設定すると、ハイスピードプラスエリアへの切り替えができなくなります。	オン、オフ	オフ
ローミング規制	オンに設定すると、ローミング設定がオフとなりオンへの切り替えができなくなります。	オン、オフ	オフ

2 設定が完了したら「適用」「続行」を選択する

■ プロファイル設定

プロファイル(インターネットサービスプロバイダなどの接続設定)を新規作成、編集、削除できます。
あらかじめ設定されている1つのプロファイル(Internet)以外に、最大4件までプロファイルを追加することができます。



■ プロファイルを新規作成する場合

1 「新規」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト ^{※1}	編集／削除するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大5件 ^{※2}	Internet
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号 ^{※3} (「_」「~」「!」「@」「#」「\$」「%」「^」「&」「<」「>」「<」「?」「[」は除く)	Internet ^{※5}
APN(接続先情報)	アクセスポイント名(APN)を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号 ^{※3} (「_」「~」「!」「@」「#」「\$」「%」「^」「&」「<」「>」「<」「?」「[」は除く)	●●●●●●●● ^{※5}
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大45文字までの半角英数字と半角記号(「_」「~」「!」「@」「#」「\$」「%」「^」「&」「<」「>」「<」「?」「[」は除く)	●●●●●●●● ^{※5}
パスワード	パスワードを設定します。	最大16文字までの半角英数字と半角記号 ^{※3} (「_」「#」「\$」「%」「^」「&」「<」「>」「<」「=」「?」「@」「[」は除く)	●●●●●●●● ^{※5}
認証タイプ	認証方式を設定します。	PAP、CHAP	CHAP ^{※5}
IPタイプ	IPタイプを選択します。	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6 ^{※6}	IPv4&IPv6

※1：新規作成時には表示されません。

※2：お買い上げ時、本製品にはプロファイル「Internet」が設定されています。このプロファイルは、削除できません。

※3：全角文字を入力できますが、保存できません。

※4：Webブラウザの設定によっては、入力時には「_」で表示されます。

※5：お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」の本初期値は、変更できません。

※6：WiMAX 2+とLTEは「IPv4」「IPv6」「IPv4&IPv6」に対応しています。ただし、ローミング時には自動的に「IPv4」に切り替わります。

3 設定が完了したら「保存」を選択し、「続行」を選択する

■ 作成したプロファイルを編集する場合

1 プロファイルリストから編集したいプロファイルを選択する

2 編集が完了したら「保存」を選択し、「続行」を選択する

■ 削除する場合

1 プロファイルリストから削除したいプロファイルを選択する

2 「削除」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する

■ PINコード管理

au Micro IC Card (LTE)にPIN(暗証番号)を設定し、本製品をパソコンに接続したときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

- PINコードについては「PINコードについて」(▶P.4)をご参照ください。



■ PINコードを有効にする場合

- 1 PINコード操作から「有効にする」を選択する
- 2 現在のPINコードに正しいPINを入力する
 - ・お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。
- 3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

■ PINコードを無効にする場合

PINコード操作が「有効にする」のとき、PINコード認証を無効にします。

- 1 PINコード操作から「無効にする」を選択する
- 2 現在のPINコードに正しいPINを入力する
- 3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

■ PINコードを変更する場合

PINコード操作が「有効にする」のとき、必要に応じて4~8桁のお好きな番号にPINコードを変更できます。

- 1 PINコード操作から「変更する」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のPINコード	現在のPINコードを入力します。	4~8桁の数字	(なし)
新しいPINコード	新しいPINコードを入力します。	4~8桁の数字	(なし)
確認用PINコード	確認のため、新しいPINコードを再入力します。	4~8桁の数字	(なし)

- 3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

■ 認証を行う場合

PINコード操作を有効にすると、認証されるまではインターネット接続されません。



- 1 本製品をパソコンに接続する
- 2 Speed USB STICK設定ツールのショートカットを選択するとPIN認証画面が表示されます。
- 3 PIN認証画面で「現在のPINコード」に正しいPINコードを入力する
- 4 「適用」を選択する

Speed USB STICK設定ツールのトップページが表示されます。



- ◎ PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.4)をご参照ください。
- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- ◎ PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- ◎ PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショッピングPiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

■ バックアップ&リストア

Speed USB STICK設定ツールの設定内容を接続しているパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。



■ バックアップ操作

1 「バックアップ」を選択する

2 「保存」を選択する

- ・バックアップファイルは「ダウンロード」フォルダにファイル名「nvram.bak」で保存されます。保存時にすでに「nvram.bak」というファイル名があった場合は、ファイル名の末尾に(1)、(2)など、順番に番号を追加して保存されます(Windows 8.1の場合)。
- ・お使いのパソコンの環境によっては、操作項目の表示が異なる場合があります。また、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。



- ◎ ブラウザの設定によっては、保存先とファイル名を指定できない場合があります。
- ◎ PINコード管理の設定内容はバックアップされません。

■ リストア操作

1 設定情報のリストアの「参照」を選択して読み込むファイルを指定し、「リストア」を選択する

- ・お使いのパソコンの環境によっては、操作項目の表示が異なる場合があります。

2 「OK」を選択する

- 本製品が再起動されます。再起動が完了すると、Speed USB STICK設定ツールのトップページに戻ります。
- ・ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

■ オールリセット

設定内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。



1 「オールリセット」を選択する

2 「OK」を選択する

- 本製品が再起動されます。再起動が完了すると、Speed USB STICK設定ツールのトップページに戻ります。
- ・ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。



- ◎ 「PINコード管理」(▶P.28)の設定内容はオールリセットを行ってもリセットされません。

■ プライバシー設定

Speed USB STICK設定ツールのメニューNAVIから「詳細設定」を選択したとき、プライバシー認証を行うように設定します。

- お買い上げ時には、プライバシー設定は「オフ」に設定されています。初回起動時やプライバシー設定を「オン」にするまでは、「詳細設定」を選択してもプライバシー認証を求められません。



■ プライバシー設定をオンにする場合

1 プライバシー設定から「オン」を選択する

2 新しいパスワードを入力し、更に確認のために新しいパスワードを再入力する

パスワードは、5文字以上、最大15文字までの半角英数字と半角記号(「.」「_」「;」「:」「&」「¥」*は除く)で設定します。

*:Webブラウザの設定によっては「:」で表示されます。

3 「適用」を選択し、「続行」を選択する

Speed USB STICK設定ツールを終了し、本製品をパソコンから取り外してください。次にパソコンに接続すると、プライバシー設定が有効になります。

■ プライバシー設定をオフにする場合

プライバシー設定が「オン」のとき、プライバシー設定を「オフ」にします。

1 プライバシー設定から「オフ」を選択する

2 「適用」を選択し、「続行」を選択する

トップページに戻ります。

■ 認証を行う場合

プライバシー設定が「オン」のときは、プライバシー認証を求められます。

1 設定ツールのトップページで「詳細設定へ」を選択する

2 メニューナビから「詳細設定」を選択する



3 パスワードを入力して「認証」を選択する

認証されると、「詳細設定」の「接続設定」が表示されます。



◎一度認証を行っても、以下の場合は、再度認証が必要になります。

- ・ブラウザを終了した場合
- ・本製品を取り外した場合
- ・メニューNAVIから「ログアウト」を選択した場合

接続先限定機能

特定の接続先(APN、ドメイン、IPアドレス)への接続のみを許可するように設定できます。接続を可能とする接続先情報リストを作成して端末に登録します。



1 接続先限定機能から設定するリストの「追加」を選択する

2 リストに情報を入力して「OK」を選択する

キャンセルするときは、「キャンセル」を選択します。

すでに入力したリストの項目を編集・削除する場合は、「編集」または「削除」を選択します。

- APNとドメインを登録して、特定のプロファイルだけ接続できるように設定できます。
 - APNは、プロファイルの「APN」を登録します。
 - ドメインは、プロファイルの「ユーザー名」の@以下の文字列(例. "aaa@bbb" の場合 "bbb")を登録します。
 - APNとドメインは必ず両方設定してください。
 - APNとドメインはそれぞれ最大5件登録できます。
- IPアドレスを登録して、特定のサイトだけ接続できるように設定できます。
 - IPアドレスは一定の範囲のアドレスをまとめて指定するネットワークアドレス指定でも設定できます。(例. 192.168.100.0/24, 2001:5000:ab0:1234::/64 など)
 - IPアドレスは、IPv4/IPv6それぞれで最大50件登録できます。
 - 単一のアドレスでも、ネットワークアドレス指定でも1件としてカウントされます。
 - IPアドレスの代わりにURLを使用して、接続先のサイトを限定することはできません。

3 「適用」を選択し、「続行」を選択する



◎接続先限定機能の画面にて、IPアドレス(IPv4)もしくはIPアドレス(IPv6)を登録すると、LAN IPフィルタ機能が使用不可となります。
(「LAN IPフィルタ」(▶P.33)でルールを既に設定していた場合も無効になります。)

セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定)

ファイアウォール機能に関する詳細設定を行なうことができます。

1 サブメニューから「ファイアウォール設定」を選択する

2 設定する項目を選択する

■ ファイアウォールスイッチ

ファイアウォール機能の有効／無効などを設定します。

ファイアウォールを有効にするとインターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファイアウォールの有効化	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
LAN IP フィルタ	ファイアウォールの有効化でオンを選択した場合に、LAN IP フィルタ機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
WANポートping	ファイアウォールの有効化でオンを選択した場合に、WAN側からのpingに応答するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



◎ ファイアウォールを有効に設定すると、外部からのLAN側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。また、一部のアプリケーションが使えないったり、機能が制限されたりすることがあります。以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避することができます。

■ DHCP設定

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。



◎ この機能はIPv4のネットワークプロトコルの動作のみを制御します。IPv6のネットワークプロトコルの動作には影響しません。



1 各項目を選択する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPアドレス	本製品のプライベートIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	192.168.100.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0~255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバー	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
開始IPアドレス	パソコンに割り当てる最小のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	192.168.100.100
終了IPアドレス	パソコンに割り当てる最大のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	192.168.100.200
DNS設定	DNSサーバアドレスをDHCP機能で指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリDNS	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	(なし)
セカンダリDNS	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	(なし)

*「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定内容が適用され、自動的に本製品が再起動されます。再起動が完了すると、Speed USB STICK設定ツールのトップページに戻ります。

- ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 設定を続ける場合は、起動後もう一度「詳細設定へ」を選択してください。



- IPアドレスと開始IPアドレス、終了IPアドレスには、同じサブネットワーク内のIPアドレスを指定してください。
- 終了IPアドレスには、開始IPアドレスより大きいIPアドレスを指定してください。
- これらの設定を変更すると、Speed USB STICK設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなることがあります。その場合には、正しいIPアドレスを指定してSpeed USB STICK設定ツールを起動し直してください。
- IPアドレスまたはサブネットマスクを変更すると、「LAN IPフィルタ」(▶P.33)、「DMZ設定」(▶P.35)の設定変更が必要になる場合があります。

機能設定

■ LAN IPフィルタ

ファイアウォールの基本的な機能です。
設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスからファイアウォールを通過させるか判断します。
最大16件まで登録できます。



- この機能を利用するには、「ファイアウォールスイッチ」でLAN IPフィルタをオンにしておく必要があります(▶P.32)。
- サービスの種類や用途、使用するアプリケーションによって、使用されるプロトコルとポート番号が指定されているため、それらを適切に設定することにより、特定の機能に関する通信のみを遮断することができます。
- 接続先限定機能のIPアドレス(IPv4)もしくはIPアドレス(IPv6)を登録すると、LAN IPフィルタメニューがグレーアウトされ、選択できなくなります。



■ ルールを登録する場合

1 各項目を設定する

選択したIPタイプに応じて設定項目の一部が変わります。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPタイプ	フィルタリングを設定するIPのタイプを選択します。	IPv4, IPv6	IPv4
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	両方, TCP, UDP	両方
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン, オフ	オフ
IPタイプで「IPv4」を選択した場合			
LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側(送信元)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{*1} とワイルドカードとして「*」 ^{*2}	(なし) ^{*4}
WAN IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{*1} とワイルドカードとして「*」 ^{*2}	(なし)
IPタイプで「IPv6」を選択した場合			
LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側(送信元)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{*1} とワイルドカードとして「*」 ^{*2}	(なし)
LANプレフィックス長	LAN IPアドレスのネットワークアドレス(プレフィックス)の長さ(ビット数)を設定します。	0~128	(なし)
WAN IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{*1} とワイルドカードとして「*」 ^{*2}	(なし)
WANプレフィックス長	WAN IPアドレスのネットワークアドレス(プレフィックス)の長さ(ビット数)を設定します。	0~128	(なし)
LANポート	ルールを適用するLAN側(送信元)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
WANポート	ルールを適用するWAN側(送信先)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
種別	パケットに対する動作です。	拒否	拒否 ^{*3}
方向	方向ルールを適用するパケットの送信方向です。	OUT	OUT ^{*3}

*1 : 「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2 : 「」を任意の文字として下記のように使うことができます。

1. ****
2. 10.*.*
3. 10.10.*.*
4. 10.10.10.*

LAN側IPアドレスの場合は、同じサブネット内のIPアドレス範囲内でワイルドカードが適用されます。

<例>

本製品をお買い上げ時の状態でお使いの場合、LAN側IPアドレスは「192.168.100.*」となります。DHCP設定のIPアドレスを「192.168.100.1」、サブネットマスクを「255.255.0.0」に設定した場合は、LAN側IPアドレスは「192.168.*.*」となります。

*3 : 変更できません。

*4 : 本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスが表示されます。

2 「追加」を選択する

- ・続けて別のルールを登録する場合は、手順①～②を繰り返します。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。LAN IPフィルタリストが更新されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 LAN IPフィルタリストから、設定を変更したいルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択する

項目がグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「追加」を選択する

- ・必要に応じて手順①～④を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。LAN IPフィルタリストが更新されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 LAN IPフィルタリストから、削除したいルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択する

項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。

2 「OK」を選択する

グレー表示部分が削除されます。

- ・必要に応じて手順①～④を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。LAN IPフィルタリストが更新されます。

■ DMZ設定

LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定することができます。Webサーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用するときに、ポート番号などの設定をしなくても利用できるようになります。



◎ DMZホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保するようおすすめします。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
DMZステータス	DMZホストを設定するかどうかを選択します。	オン、オフ	オン
DMZ IPアドレス	DMZステータスがオンのとき、DMZホストのIPアドレスを設定します。	(変更不可)*	192.168.100.100

*: 本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスが表示されます。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

通信履歴

通信履歴(接続開始、接続終了、接続失敗)が最大30件まで表示されます。接続開始後に端末をパソコンから取り外した場合は、以降の履歴は表示されません。

1 メニューナビから「通信履歴」を選択する

接続先	日時	内容
Internet	2014/11/19 16:50:00	connection start
Internet	2014/11/19 16:52:13	connection start
Internet	2014/11/19 16:52:58	connection start
Internet	2014/11/19 16:58:25	connection start
Internet	2014/11/19 20:33:39	connection start
Internet	2014/11/19 21:00:00	connection start
Internet	2014/11/19 21:00:00	connection start
Internet	2014/11/19 21:01:58	connection close
Internet	2014/11/19 21:47:46	connection start
Internet	2014/11/19 21:51:36	connection start
Internet	2014/11/19 21:51:36	connection close
Internet	2014/11/19 21:51:36	connection start
Internet	2014/11/19 21:56:25	connection start



- 接続先には国内での通信時は「プロファイル」が表示され、海外でのローミング時には「海外通信事業者」が表示されます。
 - ローミング中は、日付・時刻を正しく取得できず、日時の表示が「1970-xx-xx」となる可能性があります。

バージョン

本製品に関するバージョン情報を確認することができます。

1 メニューナビから「バージョン」を選択する

The screenshot shows the software interface for the Speed USB STICK U01. At the top, there's a toolbar with icons for connection, basic settings, detailed settings, and communication status, along with language and help buttons. Below the toolbar, a large grey bar contains the title '▲ バージョン'. Underneath this bar, the text '機種名:' is followed by 'Speed USB STICK U01' and 'ソフトウェアバージョン:' followed by a series of dots indicating the version number.

海外利用

グローバルパスポート	38
GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について	38
海外でご利用になるときは	38
海外で安心してご利用いただくために	38
海外利用に関する設定を行う	39

グローバルパスポート

GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先でLTEネットワーク／UMTSネットワークに接続してご利用になれます。

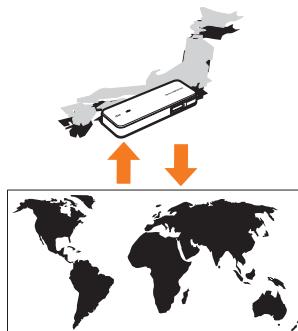
- ・特別な手続きなしで、世界のLTEネットワーク／UMTSネットワークでデータ通信ができます。
- ・特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通信料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客様センターにてご確認ください。
- ・ローミング設定をオンにした状態でも、日本国内にいる場合は、日本のネットワークを利用できます。



◎国際ローミングとは、日本でお使いのauの端末のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいてデータ通信などをご利用いただくサービスです。

ご利用イメージ

- 1 日本国内では、WiMAX 2+／auのLTEネットワークでご利用になります
- 2 「ローミング設定」(▶P.39)を行います
- 3 世界のLTE／UMTSネットワークでご利用になります
- 4 帰国後は、必要に応じてローミング設定をオフに戻します
 - ・ローミング設定がオンのままでも、日本国内と海外の両方で通信が可能です。



◎国際ローミング時は、自動的にIPv4設定に切り替わります。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.39)に従い、各種設定を行ってください。新規ご契約ご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■本製品を盗難・紛失したら

- ・海外で本製品を盗難・紛失された場合は、お客様センターまで速やかにご連絡いただき、通信停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生したパケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- ・本製品に挿入されているau Micro IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。(▶P.4)

■海外での通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ・ご利用料金は国・地域によって異なります。
- ・海外におけるパケット通信料は、国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ・国・地域によっては音声通話のみ対応するネットワークを提供している通信事業者の場合があります。その場合、パケット通信は利用できません。

海外利用に関する設定を行う

海外で本製品を利用するには、Speed USB STICK設定ツールを起動し、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。



■ ローミング設定

1 メニューナビから「基本設定」を選択し、サブメニューから「ローミング設定」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ローミング設定	国際ローミングのオン／オフを設定します。	オン、オフ	オフ
ローミングモード*	本製品を使用するネットワークを選択します。	自動(LTE／UMTS)、UMTS	自動(LTE／UMTS)
海外通信事業者検索*	利用するネットワークの検索方法を設定します。	自動検索、手動検索	自動検索
ネットワークリスト	海外通信事業者検索を「手動検索」にして「適用」を選択後に表示されます。 接続するネットワークを設定します。	(リスト項目)	(なし)

※：ローミング設定をオンにすると設定できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



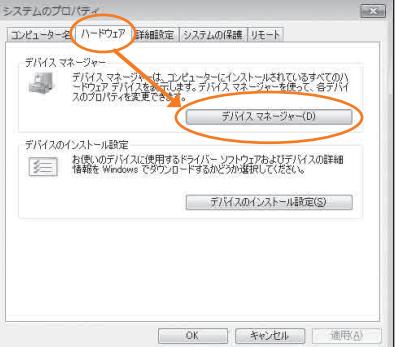
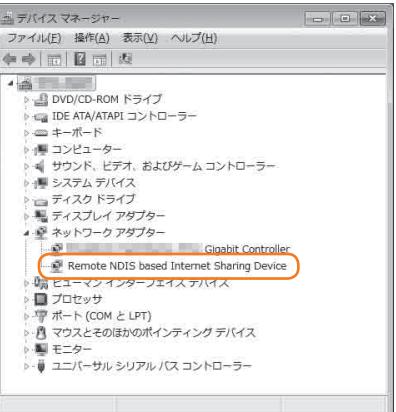
◎ 海外通信事業者検索を「手動検索」に設定した場合には、設定時の本製品周辺の通信事業者が検索されますので、渡航先現地で通信事業者を選択する必要があります。

付録／索引

付録.....	42
故障とお考えになる前に	42
アフターサービスについて	44
Speed USB STICK設定ツール メニュー項目／設定項目一覧.....	45
主な仕様	47
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	47
Reduction of hazardous substances.....	48
EU regulatory conformance	48
FCC Regulatory Compliance	48
輸出管理規制.....	49
用語集	49
索引.....	50
知的財産権について	51
商標について.....	51
個人情報保護方針.....	51

付録

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	
インターネットへの接続に失敗した。	サービスエリア内であることをご確認ください。 電波状態が良くないところであれば、電波状態が良いところへ移動して、もう一度接続してください。 時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。 Speed USB STICK設定ツールを起動し、ネットワーク関連の設定が正しく設定されていることを確認してください。	— — P.20
通信がすぐに切れる。	電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。 本製品とパソコンが、正しく接続されていることを確認してください。 本製品をパソコンから取り外してもう一度接続してください。 上記の操作を行ってもなお接続できない場合、本製品を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。	— — — —
通信速度が遅く感じる。	電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。 回線が混雑している場合があります。時間で再度試してください。	— —
パソコンが本製品を認識しない。	本製品がパソコンに正しく接続されているかどうかを確認してください。 本製品をパソコンから一度取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。	— —
● Windows 7およびVistaの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。		—
①「コンピューター」(Windows Vistaの場合は「コンピュータ」)を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「システムの詳細設定」を選択して、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」(Windows Vistaの場合は「続行」)を選択します。		—
②「システムのプロパティ」の画面が表示されたら、「ハードウェア」のタブを選択し、次の画面を表示させます。		—
		—
③「デバイスマネージャー」を選択し、次のデバイスが表示されることを確認してください。		—
• Remote NDIS based Internet Sharing Device		—
		—
● Windows 8/8.1の場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。		—
①デスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面の右上隅／右下隅に移動)し、「設定」から「PC情報」を選択します。		—
②システム画面が表示されたら、画面左側から「デバイスマネージャー」を選択し、次のデバイスが表示されることを確認してください。		—
ネットワーク アダプター Remote NDIS based Internet Sharing Device ユニバーサル シリアル バス コントローラー Huawei Mobile Connect - Bus Enumerate Device		—
● Macの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。		—
①「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダを開き、「ターミナル」を選択して起動します。		—
②ターミナルウインドウが表示されたら、次のように入力します。 ioreg -p IOUSB -w -S grep HUAWEI		—
③次の情報が表示されることを確認します。 HUAWEI xxxx@xxxx		—

こんなときは	ご確認ください	参照
本製品をパソコンに接続しても、インストーラーが自動的に起動しない。	システムが新しいハードウェアを認識してから、インストール準備に時間がかかりますので、しばらくお待ちください。また、パソコンの設定によってはインストーラーが起動せずに、自動的にインストールが開始される場合があります。 ご利用のパソコンにセキュリティソフトがインストールされている場合、セキュリティソフトの機能を停止してインストールをお試しください。機能の停止操作についてはセキュリティソフトの取扱説明書をご確認ください。	P.14 —
本製品の設定を購入時の状態に戻したい。	● Speed USB STICK設定ツールから本製品をリセットする場合 ①Speed USB STICK設定ツールを起動します。 ②「詳細設定」→「詳細設定」→「オールリセット」→「OK」の順に選択します。 ③「オールリセット」を選択すると、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。	P.29
管理者権限/Administratorでログインしているのか判らない。	● Windows 7およびWindows Vistaの場合 ①[スタート]→[コントロールパネル]を選択して、[コントロールパネル]画面を表示します。 ②[ユーザー アカウントと家族のための安全設定]を選択して、次の画面で[ユーザー アカウント]を選択します。 ③画面の右側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本製品をセットアップすることができます。 ● Windows 8/8.1の場合 ①デスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面の右上隅／右下隅に移動)し、「設定」から「コントロールパネル」を選択します。 ②「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」から「アカウントの種類の変更」を選択します。 ③画面に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本製品をセットアップすることができます。 ● Macの場合 ①アップルメニューから「システム環境設定…」を選択します。 ②「システム環境設定…」の画面で、「システム」の「アカウント」を選択します。 ③画面の左側に現在ログインしている「マイアカウント」のユーザ名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「管理者」であれば管理者権限でログインしていますので、本製品をセットアップすることができます。	— — —

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用端末お届けサービスにて回収した今までお使いのau端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSpeed USB STICK U01本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

- ◎ ご入会は、au端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のau端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au端末を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のau端末に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客様センター(紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて)

一般電話からは **10077-7-113**(通話料無料)

au電話からは 局番なしの**113**(通話料無料)

受付時間 24時間(年中無休)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話／au電話からは **0120-925-919**(通話料無料)

受付時間 9:00～21:00(年中無休)

オンライン修理受付(24時間受付)

*パソコン・スマートフォンからのみ受付可能 https://cs.kddi.com/support/n_login.html

- ・インターネット受付でのお申し込みには、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障(破損、水濡れなどの原因ではないが起動しないなど)の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
- ・インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。



■ auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイサポートプラスLTE		
	会員	非会員	
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目 無料	補償なし
		2年目以降 お客様負担額 1回目：5,000円 2回目：8,000円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失		
預かり修理	自然故障	1年目 無料	実費負担
		2年目以降 無料(3年保証)	
	部分破損	お客様負担額 上限5,000円	
	水濡れ、全損	お客様負担額 10,000円	
盗難、紛失		補償なし (機種変更対応)	

*金額はすべて税抜

memo

交換用端末お届けサービス

- ◎ auの端末がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用端末(同一機種・同一色)をお届けします。故障した今までお使いのau端末は、交換用端末がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
- ◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時ににおいて過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

*詳細はauホームページをご確認ください。

預かり修理

- ◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- ◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

Speed USB STICK設定ツール メニュー項目／設定項目一覧

付録
索引

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値
接続		
接続ステータス	—	—
情報	—	—
基本設定		
モバイルネットワーク		
通信モード設定	ハイスピード、ハイスピードプラスエリア	ハイスピード
接続方法	自動、手動	自動
ローミング設定		
ローミング設定	オン、オフ	オフ
ローミングモード	自動(LTE／UMTS)、UMTS	自動(LTE／UMTS)
海外通信事業者検索	自動検索、手動検索	自動検索
通信量カウンター		
データ通信量	—	—
データ設定	カウント方式の選択 カウントする通信モードの選択 カウントするネットワークの選択 最大データ通信量設定 カウント開始日 通知設定 通知するデータ通信量設定	通信モード、ネットワーク ハイスピード(オン、オフ) ハイスピードプラスエリア(オン、オフ) WiMAX 2+(オン、オフ) LTE(オン、オフ) 1~99 1~31 オン、オフ 10%、20%、…、100%
再起動	—	—
オンラインアップデート	自動検出	オン
詳細設定		
接続設定		
プロファイルリスト	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大5件	Internet ^{*1}
MTU(Bytes)	1400~1500	1420
使用するプロファイルの位置	本体内プロファイル、接続PC内プロファイル	本体内プロファイル
プロファイル(Internet)使用規制	オン、オフ	オフ
ハイスピードプラスエリアモード規制	オン、オフ	オフ
ローミング規制	オン、オフ	オフ
プロファイル設定		
プロファイルリスト	お買い上げ時に登録されているプロファイルを除き最大5件	Internet ^{*1}
プロファイル名	最大32文字までの半角英数字と半角記号 (「.」「!」「@」「#」「\$」「%」「&」「<」「>」「<」「>」「?」「!」は除く)	Internet
APN(接続先情報)	最大32文字までの半角英数字と半角記号 (「.」「!」「@」「#」「\$」「%」「&」「<」「>」「?」「!」は除く)	●●●●●●●●
ユーザー名	最大45文字までの半角英数字と半角記号(「.」「-」「_」「/」「@」)	●●●●●●●●
パスワード	最大16文字までの半角英数字と半角記号 (「!」「#」「\$」「%」「&」「!」「*」「+」「-」「.」「/」「:」「<」「>」「=」「?」「@」「[」「]」「{」「}」)	●●●●●●●●
認証タイプ	CHAP、PAP	CHAP
IPタイプ	IPv4、IPv6、IPv4 & IPv6	IPv4&IPv6
PINコード管理		
PINコード操作	有効にする、無効にする、変更する	(なし)
現在のPINコード	4~8桁の数字	^{*3}
新しいPINコード	4~8桁の数字	(なし)
確認用PINコード	4~8桁の数字	(なし)
PINロック解除コード	8桁の数字	^{*3}
バックアップ＆リストア		
設定情報のバックアップ	—	—
設定情報のリストア	—	—
オールリセット		
プライバシー設定		
プライバシー設定	オン、オフ	オフ
新しいパスワード	—	—
パスワード(確認用)	—	—
接続先限定機能		
接続可能なAPNリスト	—	—
接続可能なドメインリスト	—	—
接続可能なIPアドレス(IPv4)リスト	—	—
接続可能なIPアドレス(IPv6)リスト	—	—

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
ファイアウォール設定			
ファイアウォールスイッチ	ファイアウォールの有効化(オン / オフ)	オン、オフ	オン
	LAN IP フィルタ(オン / オフ)	オン、オフ	オン
	WANポートping(オン / オフ)	オン、オフ	オン
DHCP設定	IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.100.1
	サブネットマスク	0～255の4組の番号	255.255.255.0
	DHCPサーバ	オン、オフ	オン
	開始IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.100.100
	終了IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.100.200
	DNS設定	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
	プライマリDNS	0～255の4組の番号	(なし)
	セカンダリDNS	0～255の4組の番号	(なし)
LAN IP フィルタ	IPタイプ	IPv4, IPv6	IPv4
	プロトコル	両方、TCP、UDP	両方
	ステータス	オン、オフ	オフ
	LAN IP アドレス	0～255の4組の番号とワイルドカードとして「*」	(なし) ^{*4}
	LANプレフィックス長(IPタイプが「IPv6」の場合)	0～128	(なし)
	WAN IP アドレス	0～255の4組の番号とワイルドカードとして「*」	(なし)
	WANプレフィックス長(IPタイプが「IPv6」の場合)	0～128	(なし)
	LANポート	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
	WANポート	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
	種別	拒否	拒否
	方向	OUT	OUT
DMZ設定	DMZステータス	オン、オフ	オン
	DMZ IP アドレス	(変更不可) ^{*4}	192.168.100.100
通信履歴			
バージョン			

※1：お買い上げ時、本製品にはプロファイル「Internet」が設定されています。このプロファイルは、削除できません。

※2：Webブラウザの設定によっては、入力時には「\」で表示されます。

※3：お買い上げ時のPINコードとPINロック解除コードについては、「PINコードについて」(▶P.4)を参照してください。

※4：本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスが表示されます。

主な仕様

外形寸法	約32(W)×94(H)×13.5(D)mm
質量	約38g
インターフェイス	USB 2.0 High Speed(USB端子)
消費電力	通信時一般:約1.2W(WiMAX 2+)／約1.3W(LTE)／約1.2W(UMTS) 通信時最大:約2.3W(WiMAX 2+)／約2.8W(LTE)／約2.1W(UMTS) ※使用状況により消費電力は変化します。
環境条件	動作周囲温度範囲: 5 ℃～35 ℃ 湿度: 35%～85%
通信方式	国内: WiMAX 2+, LTE 海外: LTE, UMTS

データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種Speed USB STICK U01は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(*)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は0.669W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることがありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ:

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

○HUAWEI TECHNOLOGIES CO.,LTD.のホームページ:

<http://consumer.huawei.com/jp/mobile-broadband/support/information/hwd32-jp.htm>

○auのホームページ:

<http://www.au.kddi.com/>

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

Reduction of hazardous substances

This device is compliant with the REACH Regulation [Regulation (EC) No 1907/2006] and RoHS Directive Recast (Directive 2011/65/EU). Batteries (if included) are compliant with the Battery Directive (Directive 2006/66/EC). For up-to-date information about REACH and RoHS compliance, please visit the web site www.huaweidevice.com/certification.

EU regulatory conformance

RF exposure requirements

Important safety information regarding radio frequency (RF) radiation exposure:

RF exposure guidelines require that the device be used at a minimum of 1.5 cm from the human body. Failure to observe this guideline may result in RF exposure exceeding limits.

Certification information (SAR)

This device meets guidelines for exposure to radio waves.

Your device is a low-power radio transmitter and receiver. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves. These guidelines were developed by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), an independent scientific organization, and include safety measures designed to ensure the safety of all users, regardless of age and health.

The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level during operation can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network.

The SAR limit adopted by Europe is 2.0 W/kg averaged over 10 grams of tissue, and the highest SAR value for this device complies with this limit.

Statement

Hereby, Huawei Technologies Co., Ltd. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

For the declaration of conformity, visit the web site www.huaweidevice.com/certification.

The following marking is included in the product:

CE0197

This device may be operated in all member states of the EU.

Observe national and local regulations where the device is used.

This device may be restricted for use, depending on the local network.

FCC Regulatory Compliance

RF exposure requirements

Important safety information regarding radio frequency (RF) radiation exposure:

RF exposure guidelines require that the device be used at a minimum of 0.5 cm from the human body. Failure to observe this guideline may result in RF exposure exceeding limits.

Certification information (SAR)

This device is also designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA).

The SAR limit adopted by the USA is 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit.

FCC statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution: Any changes or modifications to this device not expressly approved by Huawei Technologies Co., Ltd. for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

用語集

CHAP(Challenge Handshake Authentication Protocol)

ネットワーク上で利用される認証方式の一つです。認証情報のやり取りが暗号化されるため、PAPなどよりも高い安全性を有します。

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

IPネットワークに接続する端末に対してIPアドレスを自動的に割り当て、接続に必要な情報を提供する機能です。接続のための設定が簡単になる反面、接続のたびにIPアドレスが変わるために、IPアドレスで端末を特定することができなくなります。

DMZ(DeMilitarized Zone)

ファイアウォールによって内部ネットワークから隔離された領域で、非武装地帯を意味します。DMZホストに設定した端末で、外部に対してすべてのポートがオーブンされるため、特別な設定をしなくともサーバーアプリケーションやオンラインゲームを利用することができます。

DNS(Domain Name System)

IPアドレスとドメイン名を関連付け、相互に置き換えるシステムです。

IMEI(International Mobile Equipment Identity)

携帯電話に記録された端末識別番号です。

IMSI(International Mobile Subscriber Identity)

ICカードなどに記録された加入者識別番号です。

IPv4(Internet Protocol Version 4)

インターネットで利用されている現行のインターネットプロトコルのことをいいます。32ビット固定長のIPアドレスを使用しています。携帯電話やスマートフォンによるインターネットの急速な普及により、アドレス資源の枯渇が危惧されています。

IPv6(Internet Protocol Version 6)

現行のインターネットプロトコルIPv4をベースに、開発された次世代インターネットプロトコルのことをいいます。128ビット固定長のIPアドレスを使用したほかセキュリティ機能の追加、パケット転送の最適化などにより、アドレス資源の枯渇回避やデータ転送の確実性を高めています。

IPアドレス

ネットワーク上のコンピュータや通信機器を識別するための番号です。

LAN(Local Area Network)

家庭やオフィスなどに構築された、複数のパソコンやプリンタなどで構成されている小規模なネットワークです。

LTE(Long Term Evolution)

Long Term Evolutionの略で、国際標準化団体の3GPPが仕様を作成した移動体通信方式です。CDMA方式(3G)と比較して高速なデータ通信が可能です。

MACアドレス(Media Access Controlアドレス)

すべてのネットワーク機器に対して固有に割り当てられた6バイト長のID番号のことです。一般的にMACアドレスは、16進数で「XX:XX:XX:XX:XX:XX」のように表現されます。

MTU(Maximum Transmission Unit)

ネットワーク上で、1回の転送で送信できるデータの最大値のことをいいます。接続するごとに送信側がその値を設定でき、送信側が受信側より大きいMTUを持っている場合には、受信側のMTUに従ってデータを再分割して送信します。

PAP>Password Authentication Protocol

ネットワーク上で利用される認証方式の一つです。パスワードによってユーザを識別します。PPPによるダイヤルアップ接続の際に利用されます。

PIN(Personal Identification Number)

本製品を使うために必要な暗証番号のこと、個人識別番号を意味します。本製品が紛失・盗難などにあった場合でも、第三者が使えないようになります。

UMTS(Universal Mobile Telecommunications System)

IMT-2000準拠の通信方式のヨーロッパ標準で、第3世代携帯電話の規格の総称です。最大通信速度は2Mbpsです。

WAN(Wide Area Network)

地理的に離れた地点にあるパソコンどうしを電話回線や専用回線で接続するネットワークです。LAN(Local Area Network)の対義語としてよく用いられます。一般的には、インターネットとほぼ同義の言葉として使われます。

WiMAX 2+

WiMAX Release 2.1規格に基づく次世代高速モバイルデータ通信サービスです。TD-LTEと互換性を持つとともに、WiMAX(802.11e)とのシームレスな接続を維持できます。サービス開始時点での下り最大110Mbps、将来的には下り1Gbpsを超える高速化が予定されています。日本国内では2.5GHzの周波数帯を利用し、UQコミュニケーションズ株式会社がサービスを提供します。

ファイアウォール

インターネットなどの外部ネットワークから内部ネットワーク(LAN)に対するアクセスを監視し、不正な侵入を防止するためのシステムのことです。

プロファイル

複数のインターネット接続設定を管理するため、電話番号やユーザ名、パスワードなどの設定情報を1つにまとめたものをプロファイルと呼びます。

索引

数字／アルファベット

au Micro IC Card (LTE).....	11
CHAP	49
DHCP	32, 49
DMZ	49
DMZ設定	35
IMEI	49
IMSI	49
IPv4	49
IPv6	49
IPアドレス	49
LAN	49
LAN IP フィルタ	33
LTE	23, 49
MACアドレス	49
MTU	49
PAP	49
PIN	49
PINコード	4
PINコード管理	28
Speed USB STICK 設定ツール	20
Speed USB STICK ドライバ	14, 15, 16
UMTS	49
WAN	49
WiMAX 2+	4, 23, 49

あ

アフターサービス	44
オールリセット	29
主な仕様	47
オンラインアップデート	25

か

グローバルバスポート	38
------------------	----

さ

再起動	25
情報	22
接続先限定	31
接続ステータス	22
接続設定	26
設定項目一覧	45
セットアップ	14
Mac	15
Windows/パソコン	14

た

通信履歴	36
------------	----

は

バージョン	36
パスワード変更	30
バックアップ&リストア	29
ファイアウォール	32, 49
プライバシー設定	30
プロファイル	49
プロファイル設定	27

ま

モバイルネットワーク	23
------------------	----

ら

ローミング設定	39
---------------	----

知的財産権について

商標について

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
Google、Android、Google Chromeは、Google Inc.の商標または登録商標です。
OperaはOpera Software ASAの商標または登録商標です。Operaに関する詳細については、<http://jp.opera.com/> をご覧ください。
Mac、Macintosh、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
HUAWEIは、中国HUAWEI TECHNOLOGIES CO.,LTD.の商標または登録商標です。
その他、本書で記載している会社名、製品名などは各社の商標、および登録商標です。とくに本文中では、®マーク、TMマークは明記しておりません。

GPL書面によるオファー

本製品はGNU General Public License(Version2)が適用されたフリーソフトウェアを使用しています。詳細は、下記のホームページをご参照ください。
http://consumer.huawei.com/minisite/copyright_notice/
または、mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

個人情報保護方針

HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の個人情報保護方針について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記ホームページをご参照ください。
<http://consumer.huawei.com/jp/privacy-policy/index.htm>

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について (通話料無料)

受付時間 9:00～20:00 (年中無休)

一般電話からは au電話からは
0077-7-111 | 局番なしの**157**番

Pressing “zero” will connect you to an operator,
after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて (通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

一般電話からは au電話からは
0077-7-113 | 局番なしの**113**番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。 (無料)

0120-977-033 (沖縄を除く地域)

0120-977-699 (沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)

受付時間 9:00～21:00 (年中無休)

一般電話／au電話から

0120-925-919



取扱説明書リサイクルにご協力ください。

KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した、紙資源を
製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話 修理のリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再
利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・
電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず④マークのあ
るお店で回収し、リサイクルを行っています。

2014年12月第1版

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元：華為技術日本(株)

製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO.,LTD.